

こちらに掲載しきれないイベントやニュースは市ホームページ「すながわ TOPICS」で紹介中！

すながわトピックス

検索

▼ハンマーなどの道具でまきを真っ二つに！



砂川の秋を体感！ 親子で秋を楽しむ

9月26日(出)、ネイパル砂川にて、「ジャリン子秋体験塾」が開催され、親子8組子ども12人がまき割り・火おこし体験や落ち葉・木の実を使った工作を楽しみました。火おこし体験では、ファイヤースターターによる火花で火おこしに挑戦し、はじめはうまく火がつけられず苦戦していましたが、コツを教わって火がつけられると「ついたー！」と喜びの声が多数上がっていました。

▼固い牛革に糸を通すのに悪戦苦闘する姿も見られました



新庁舎に飾るオブジェを作ろう！ 一人ひとり個性が作品に出される

10月3日(出)、4日(日)、ソメスサドルにて、26組76人が新市庁舎のエントランスホールに飾る特別なオブジェのパーツを製作しました。牛革を使いヨット型やトリ型などを作り、それぞれが好きなひもや糸で皮をつなぎ、糸を縫うのにも一人ひとりが個性を出し、楽しみながら製作をしていました。来年5月にできる新庁舎のエントランスホールにどのように飾られるか楽しみです。

夜光反射材の効果を実感

一日警察庁舎所長も事故防止呼びかける

9月29日(火)、総合体育館にて、「乗って！見て！体験型交通安全セミナー」が開催され、市内老人クラブの方や交通指導員など約25人が夜光反射材の効果について学びました。セミナーには一日警察庁舎所長を務めた砂川高校生徒会長の菅野穂乃果さんも参加し、「今日お渡しした反射材を活用して、交通事故に気をつけて暮らしてください」と呼びかけました。

▼参加者一人ひとりに反射材を手渡す菅野さん



表現豊かに学習発表会

力いっぱい練習の成果を披露する

10月10日(出)、小学校4校にて、「学習発表会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとり、発表の中では声を出さず、手話で歌を表現するなど工夫をしながら子どもたちは練習の成果を披露していました。観客である、保護者の皆さんからは、力いっぱい表現をする子どもたちの姿に惜しみない拍手が送られていました。

▼体全体を使った表現で観客に披露していました





各種団体等のイベント情報をお待ちしています。取材に伺いますので、広報広聴係TEL 54-2121 までお気軽にご連絡ください。



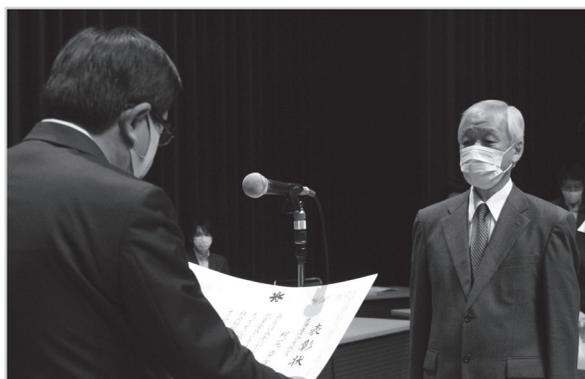
横山絹枝氏、梶尾幸克氏が北海道社会貢献賞を受賞

このたび、横山絹枝氏よこやまきぬえ [65] と梶尾幸克氏かじおよしかつ [67] が北海道社会貢献賞を受賞され、9月25日(金)、地域交流センターゆうにて行われた民生児童委員協議会定例会の中で伝達式が行われました。

長きにわたり、地域福祉の向上に努め、ボランティア活動などに積極的に参画し、事業の円滑な運営に多大な貢献をされたことから、今回の受賞となりました。



横山氏は平成9年から現在に至るまで民生委員・児童委員を務められ、同28年からは児童母子(父子)対策部会長、令和元年から監事に就任されています。



梶尾氏は平成10年から現在に至るまで民生委員・児童委員を務められ、同25年からは監事、同28年から副会長に就任されています。

バス待合所の寄付を受けました！



中道リース(株)関寛代表取締役社長より、バス待合所の寄付を受けました。このバス待合所は宮川町上り(DCMホームマック砂川店前)に設置されています。長年、地域から要望されていた待合所の設置は、バスの利用者にとってこれからの寒い季節に大変うれしい設備になりそうです。



工藤志津子氏が北海道善行賞を受賞



このたび、工藤志津子氏くどうしづこが北海道善行賞(障がい者自立活動者)を受賞され、10月7日(水)、自立支援センターにて、市長より表彰状と記念品が手渡されました。

工藤氏は、昭和31年から和裁関係の仕事をされ、同59年から赤い羽根共同募金街頭活動に参加されています。また、退職後の平成18年からはNPO法人砂川つばさの理事として重要な役割を担うなど、障がいを克服し、社会活動における永年の実績から他の障がい者の模範となることが評価され、今回の受賞となりました。